



文武両輪

～学習も行事も部活動も～

令和5年3月24日

【文責】校長 蔦川 誠

今年度を終えるにあたって

本日、令和4年度修了式を行いました。1・2年生の皆さん、進級おめでとう。

今年度、楽しかったことや悲しかったことが様々ありましたが、今日で令和4年度の教育活動を終えることができました。文武両面で、皆さんが頑張ってくれたことをとてもうれしく思います。

来年度も、皆さんの活躍を大いに期待しています。以下に式辞（一部省略）を掲載します。

（前略）

4月の始業式では、私から、「授業では自分から進んで学ぶ姿勢を心がけてほしい」、さらに「授業だけでなく、学校生活の中には様々な勉強があり、それらを一一つ一つ学んでほしい」という2つのことをお話ししました。この一年、皆さんは、この2つを実行することはできていたでしょうか。

私から見ると、どの行事や教育活動においても、常に仲間と共に一生懸命に取り組む姿が見られ、その姿は立派なものだったと思います。特に、授業中に真剣に取り組む姿は、授業を参観した市教育委員会の先生方をはじめ多くの方々から「長者中生はしっかりと学びに向かっている。素晴らしい」とのお褒めの言葉をいただきました。授業で自分から進んで学ぶ姿勢は十分に実行できていたと思います。

また、合唱コンクール、体育祭、文化祭の三大行事をはじめとして、全ての行事を見事に成功させることができました。最初の頃はまとまりに欠けるところも見られましたが、練習や準備が進むにつれて、しだいに学級が一つにまとまって行って、本番では充実感や達成感などを得ることができました。どの行事においても、生徒会テーマ「結束」をしっかりと実現することができました。さらには、勉強や行事だけでなく、部活動においても目覚ましい活躍が目立ちました。これらのことから、授業以外の様々な勉強にも積極的に取り組んで、大きな成果を挙げたと言えます。

先日の生徒総会で皆さんは、来年度の生徒会テーマとして、全校生徒がより一層の成長を目指すため、「共栄」というテーマを決定しました。「共栄」を常に意識して、来年度も全校生徒一丸となって、笑顔あふれる楽しい学校づくりに力を尽くしてほしいと思います。

今月、1年生は希望式を、2年生は立志式を実施しました。希望式では、「自ら行動し、周りから信頼され、妥協せず挑戦し続ける2年生になります」という学年希望宣言を、立志式では、「凡事徹底する自立した人、有言実行する責任感のある人、切磋琢磨し相手を尊重する人になります」という学年立志宣言を発表しました。どちらの宣言からも、一人一人が自らの意識を高めるとともに集団としての力も向上させて、長者中をさらに発展させようとする強い決意を感じることができました。こうした強い決意を胸に刻んで、来年度は2年生として学校を支え、3年生として学校をリードしていくことを是非お願いします。

また、今月はとても辛く悲しいことがありました。一人一人が命の大切さを深く考えたことと思います。自分の命も仲間の命もかけがえのないものです。決して粗末にせず、一日一日を大事に過ごしてください。自分を傷つけることや仲間を傷つけることは絶対にしないでください。特に「こういうふうに言ったら、あるいはこんな態度をとったら相手は嫌だろうな」という言葉や態度はやめてください。これは強くお願いします。私が目指す学校は、誰もが安心して過ごせる学校です。

今年度、「文武両輪の花を咲かせよう～勉強も行事も部活動も～」という合言葉を何回かお話ししてきました。この1年、たゆまぬ努力のおかげで、皆さんはたくさんの色とりどりの花を咲かせてくれました。私はそのことをとてもうれしく思います。

来年度も、新たな仲間とともにたくさんの花を咲かせて、より一層レベルアップした長者中学校を創っていきましょう。